

団体名	所在地	助成額 (万円)	助成金使途
ふあいんど	見附市	192	<b>[6次産業による地域福祉活性化事業]</b> 休耕田を利用した農産物の乾燥や加工を行う。また野山の野生の植物を採取し加工して販売する。その際に高齢者と障がい者のユニットを組み作業を行う。
佐渡地区農山漁村体験推進協議会	佐渡市	160	<b>[「さどんぼ」を発展させた体験プログラムの造成](継続事業2年目)</b> 訪れる季節・利用客の年齢・ニーズごとに、各集落のガイド組織内で検討会・実践研修会を行い、体験プログラムを作成する。佐渡への来訪客のニーズ＝「春は祭り、夏はファミリー客、秋はシニア世代、冬は味覚」と、季節と客層を決めて打ち出していく。
NPO法人 柏崎まちづくりネットあいさ	柏崎市	160	<b>[まちのみらいプロジェクト～若者の社会参加促進整備事業]</b> 昨年度実験的におこなったテーマ型インターンシップをより本格的に実施するために、大学を含めた実施体制の整備、広く情報を発信・記録するWEBサイトも作成します。また、大学生が専門性を活かしながら、市民活動団体と協力して行う商品開発プロジェクトにも着手します。
特定非営利活動法人 みんなの庭	南魚沼市	147.2	<b>[育児中の孤立母を解消するワークシェアリング～ママの働き方応援創造事業～](継続事業2年目)</b> ①生産体制強化とコミュニティ拡充のための拠点整備。②製品作り手講習会、母親つながりづくりワークショップの継続的開催。③販売提携先の開拓と見本市、イベントなどへの出店。④企業や団体と連携してマーケットのニーズに合わせた商品の企画、製造。
特定非営利活動法人 野外教育学修センター 魚沼伝習館	南魚沼市	100	<b>[未利用資源の調査・回復と利活用による経済資源の形成とそれによる雇用の創出・地域の活性化]</b> 当団体が活動している限界集落内の①経済価値化可能な潜在資源調査(ポテンシャル調査)を行う。②未利用資源(荒廃した田畑、山林)の利活用で生産物については収入源の多様化を図る為、適地適作的な観点も含め農林生産物の検討を行う。③資源の回復作業を継続的に実施する。山林についても林産物生産の為の山林整備を行う。④現在コメの販売先である飲食関連業種に市場調査を行い、生産物と市場のマッチングを行い販売計画の策定を行う。
佐渡地鶏ひげ生産組合	佐渡市	100	<b>[鶏の解体・加工販売所の新築]</b> 「佐渡ひげ地鶏」種の保存と活用。交配種「佐渡地鶏ひげ」のブランド卵と肉によるオンリーワン食品開発と販売。
キラリ真人	小千谷市	92	<b>[食を通じたコミュニティビジネス]</b> ①閉校となった旧小学校の給食室を味噌加工所として利用するための機材を整える。②温泉の廃業後、利用方法について模索していた地域内にある活性化施設を有効活用し、地域内外の交流の場として農家レストランや各種体験事業の実施、また地域住民の交流拠点として活用する。
結束集落	津南町	60	<b>[結束の資源「石垣田・見倉橋」を活かした元気づくり](継続事業2年目)</b> 地域の魅力発信として、①パンフ等活用策として県内旅行会社のツアーを呼び込むことで結束をアピールする。②2015年夏、津南町・十日町市で開催される「大地の芸術祭」に向けた出店準備。③津南郷人会へ結束物産を売り込む。④勉強会を通して結束の行事のトータルプランニングを行う。 事業の定着としては、①ガイドの育成。②特産物をつくる。
わかとち未来会議	小千谷市	60	<b>[若栃楽校の開講による未来デザインの検討・ビジョンづくり](継続事業2年目)</b> 今年度5月から「わかとち楽校」を開講し、哲学者や生命科学者の講演会を開催し、12月には、日本総研の藻谷浩介氏を招き、これからの10年を支える考え方を学び、次のWSを行い、次のビジョンを共創し実現に向けて実行する。
ものずき村	魚沼市	55	<b>[守門地区の民宿の活性化と、ものずき村の後継者育成で持続可能な地域の元気づくり](継続事業2年目)</b> ①守門地区の宿泊施設との密接な情報交換でお客様の新しいニーズ調査。②知名度を上げて守門地域の良さを知ってもらう第一段階として県内、首都圏の日帰り顧客の誘致。③新しいアクティビティを確立する。④より新しい情報収集のために先進地との勉強会を積極的に実施する。
<b>合計(10団体)</b>		<b>1,126.2</b>	